

ぎふしん愛の募金
県医師会に30万円

「コロナ対応役立てて」

岐阜信用金庫は、同金庫
役員から寄せられた「ぎ
ふしん愛の募金」の一部の
30万円を、新型コロナウイルス
の対応に当たる医療現



山口貴生専務理事(左)から目録
を受け取る河合直樹会長。岐阜
市数田南、県医師会館

場で役立ててもらおうと、
県医師会に贈った。

同募金は1992年度か
ら支店を置く各地の社会福
祉協議会などに届けてい
る。今年はコロナの影響で
同金庫主催のイベントや街
頭での募金活動が中止とな
ったが、役員員の募金を続
け、今回初めて県医師会に
寄付することにした。

岐阜市数田南の県医師会
館で寄贈式があり、同金庫
の山口貴生専務理事が目録
を県医師会の河合直樹会長
に手渡した。河合会長は「ク
ラスタ―(感染者集団)が
多発するなど県内の感染者
が日々増えている。医療従
事者は感染リスクがある中
でコロナと闘っている。知
恵を絞って勇気づけられる
ようなことに募金を使いた
い」と感謝した。

(山本貴史)